

# 【みんなの家】ができるまで

NPO法人みんなの家  
事務局 中村真知子

## I みんなの家が出来るまでの流れ

2000年 家族のこと 夫(56歳):広島に単身赴任→老親見守りのため  
私(50歳):専業主婦  
長男(23歳):就職  
次男(20歳):重度の自閉症(障害者認定最重度)・知的障害者更生施設に通所  
両親(92歳・85歳・80歳):高齢になったので介護が必要となりつつありました(遠距離介護)  
その他のこと 介護保険が導入されました

- \* 障害のある息子と遠方の老親を抱え、これからどうしたものかと暗澹とした気持ちになっていました。
- \* 高齢者問題(老親と自分達の将来)と障害者問題をともに解決する工夫を真剣に考え始めました。  
お互いに犠牲になることなく、それぞれの人生をハッピーなものにするにはどうしたらいいだろう?
- \* 介護保険が導入され、利用したことから見えてきたこと→介護保険の限界→なんらかの自助努力の必要性

高齢者・障害者……共に要援助という意味で共通

- 1、援助の質を高め、量を増やす……行政等に期待する部分が大(短期間では改善困難)
- 2、援助を受けやすい形に整える……自助努力(工夫)できる部分がある

生き方(人生観)←→生活の仕方(住まい方)←→住居の形態

☆高齢化していく障害者親子の相互扶助制度として”集まって棲む”方法を考え始める

- 1、建物 安全快適な生活が送れるよう配慮された建物
- 2、人 よき理解者、支援者等人的配慮
- 3、仕組み これらが上手く機能する仕組み

2002年

- \* 「みんなの家を作る会」としてグループを立ち上げ勉強会を始める(4月)
- \* 障害者を家族に持たない人達の参加により、会の目指すものも徐々に変化していきました。

☆年齢、障害の有無にかかわらず誰でもが安心して暮らせる共生の場としての【みんなの家】を考え始める

2003年

- \* 「みんなの家建設準備委員会」(3月)

2004年

- \* 「NPO法人みんなの家」設立(6月)
- \* 「みんなの家・センター北建設組合」設立(9月)

☆仲間の家づくりから一歩進んで共生社会を目指す運動体としてNPO法人を取得しました

2005年

- \* 「みんなの家・センター北」建設工事着工(3月)

2006年

- \* 「ノアヒューセット」(みんなの家センター北)完成(2月)

☆私の夢が私の思いにそして志同くする仲間の願いになっていき最後みんなの夢と希望を乗せてみんなの家に育ちあがりました!

私の夢 → 私の思い → 仲間の願い → みんなの家

## II 「ノアヒューセット」(みんなの家センター北)

- 1、建物 地下 NPO法人所有一交流室  
1階 (福)同愛会所有一地域支援センター  
2階～4階 個人所有一住宅  
5階 NPO法人所有一グループホームとして使用(同愛会が運営)
- 2、居住者
  - ①居住者 22名 20歳～ 8名 (障害者6名含み)  
30歳～ 6名 (障害者2名含み)  
50歳～ 1名  
60歳～ 7名
  - ②準居住者 地域支援センター(3名)・グループホーム世話人(2～3名)・テナント企業(3～4名)  
NPO交流事業ボランティア(20名前後)・地域支援センター利用者・NPO交流事業利用者(多数)

### Ⅲ、みんなの家の暮らし

地下	NPO交流事業	交流室1・2
	発達支援事業・・・障害をもつ幼児・学童のデイサービス	
	余暇支援事業・・・障害のある人ない人いっしょに楽しむ余暇活動(放課後／週末／夜間)	
		* 絵画・習字・ダンス・ハイキング・折り紙・きり絵・木工・マリンバ・お茶・体操等
1F	居宅介護サービス事業	(福)同愛会 森のピーターパン
2～4F	個人住宅	45㎡・62㎡の2タイプ
5F	知的障害者グループホーム	(福)同愛会運営／夜間サポートはNPOが受託
屋上	バーベキューパーティーをしたり、夏にはお子さん達が水遊びをしたり、みんなの貴重な憩いの場となっております。夜には近くの観覧車のイルミネーションも美しく絶好の夕涼みスポットとなります。	

\*【みんなの家】はNPO法人・居宅介護サービス事務所・グループホームの3つの福祉的社会資源とそれに囲まれる形での7戸の個人住宅で構成されております。  
 住人は20人ちょっとですが、障害ある人、ない人色々です。  
 また、子どもは交流事業に力を入れておりますので毎日のように住人数をはるかに上回るほどの人の出入りがありたくさんの方の出会いの場、交流の場、安らぎの場となっております。  
 その柔らかな雰囲気にも包まれ、障害のある人はもちろんそうでない人も皆誰に気兼ねすることもなくのんびりと暮らしております。

### Ⅳ、みんなの家は・・・

- \*【みんなの家】は素人集団で作ったコーポラティブマンションです。
- \*【みんなの家】はたくさんの善意の方の応援で出来上がりました。
- \*【みんなの家】は障害者が主役です。
- \*【みんなの家】に出入りするためにはたった一つですが条件があります。  
 それは障害のある人との生活を楽しむことが出来るかどうかということです。

#### <みんなの家が出来るまで>

						息子	両親	
第1期	1985 1986 1987 1988 1989 1990 1991 1992 1993 1994 1995 1996 1997 1998 1999	S.60	【シニアハウス】の記事に会う	・高橋英與氏 (株)生活科学 (新聞記事)	【共生住宅】について考え始める  【共生住宅】についてずーっと思いを暖め続ける  何度か友人知人に提案してみるも賛同までにはいたらず  書籍等で情報収集は細々と続ける	私の夢	5歳  自閉症 ↓ 重度化	65歳 70歳 77歳 ↓ 高齢化
第2期	2000 2001	H.12	【(福)同愛会】との出会い	・高山和彦氏 (福)同愛会	・2～3人の友人に提案少しの関心を得る ・高山氏との個人的な話し合いが続く	私の思い 私の願い	20歳	80歳 85歳 92歳
第3期	2002 2003	H.14	【みんなの家をつくる会】4月  【みんなの家建設準備委員会】3	・武田暁明氏 * 設計 ・NPOとしまち研	・勉強会(1回/月) ・土地探し	仲間の思い 仲間の願い		
第4期	2004 2005 2006	H.16  H.18	【NPO法人みんなの家】6月 【みんなの家センター北建設組合】9月 土地決定・購入(1月) 工事着工(3月) 建物完成(2月)	・(株)神奈川日本建工 ・(株)小川組	・最終正式メンバー決定	みんなの夢 みんなの思い みんなの願い みんなの希望	26歳	86歳 91歳
【みんなの家】完成しました！								